

令和7年度(2025年度)「全国学力・学習状況調査 すくすくウォッチ 6年」結果概要

千早赤阪村立千早小吹台小学校

国語



- ・平均正答率は、全体的にみても大阪府の平均値を上回っているものが多い。
- ・問題の意図を理解し適切な解答を選択したり、出題文をもとに詳しく記述したりすることが平均値を大きく上回っている。
- ・複数の資料を関連づけて読み取ることや、漢字を文の中で正しく使うことにやや課題が見られる。

今後の対策

- 語彙力をつけ、書く力を高めるために
 - ・漢字の定着を目指す。(見る・読む・書く・使う)
 - ・読み取りや解答に必要な言葉の意味を理解する。
 - ・条件をつけて文章を書く機会を増やす。
 - ・資料を読み取り、資料と資料を関係づけて考えたり思考ツールに整理したりするなどの学習を行う。

算数



- ・すべての領域の平均正答率は、大阪府の平均値を上回っている。
- ・図形領域の問題はこれまでも課題にあがることが多かったが、改善の傾向が見られた。
- ・基礎基本的な学習「知識・技能」の定着が見られる。また、無解答率が0%であったことから、粘り強く取り組んでいた。

今後の対策

- 問題場面や数量関係をさらに適切にとらえる力をつけるために
 - ・言葉や図、式を関連づけながら数量の関係をとらえることができるようにする。
 - ・グラフなどのデータを活用した表現活動を充実させる。
 - ・根拠をもって記述できる力を高めていく。

理科



- ・「エネルギー」「物質・粒子」「生命」「地球」のすべての領域の問題で大阪府の平均値を上回っている。
- ・とくに「生命」と「地球」の領域の問題が大阪府の平均値を大きく上回っている。
- ・問題形式別でみると、考えて書き表す記述式の問題の平均正答率が高い。学習したことをもとに考え、書き表そうとしていることがわかる。

今後の対策

- より深い理解を目指すために
 - ・「エネルギー」の領域は、全国的に課題が見られた。学習したことが定着するようにくり返し学習する。
 - ・複数の資料から共通点や違いを見出して考えたり、問題文を適切に読み取ったりする。

わくわく問題



- ・平均正答率は、大阪府の平均値を上回っている。
- ・自身で考えたことを伝えたり、理由や根拠を明確にして伝えたりすることができる。
- ・図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える問題にも意欲的に取り組んでいた。

今後の対策

- ・自分の考えをまとめ、工夫して相手に伝える力がついてきているので、今後も「理由や根拠を明確にして伝える」など論理的に考える場を設定し、さらに力を伸ばしていく。

児童質問紙・児童アンケートから



- ・早寝・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活が送れている児童が多い。
- ・将来の夢や目標を持っている児童が多い。
- ・学習に意欲的に取り組み、学級の友達とのかかわりの中で新たな気づきを得たり、学びを深めたりしている。



- ・家庭学習や本・新聞などを読む時間や機会が少ない。
- ・予期せぬことが起こった際に、原因がわかるまで根気追究しようとするのにやや課題が見られる。



本校は小規模校であり、こういった調査では母数が少ないため、全体の傾向を分析しにくい側面もあります。全体の回答率という大くくりの結果だけでなく、個々の設問についての結果や、児童個別の結果を参考にして、授業改善に努めています。

千早小吹台小学校では
確かな力を育むために
様々な取り組みをしています。



学校 HP

「確かな力を育むため」のページ